

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室「クラゼミ」仙台富沢校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 18日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは安心感をもって通所していますか。	これからもお子さまと保護者さまの気持ちに寄り添いながら、お子さまが楽しく活動できる支援を提供してまいります。	お子さまが自ら「クラ・ゼミに行きたい」と思ってもらえる気持ちを大切にしています。そのために、お子さまが自ら進んで取り組める療育、楽しみながら取り組める療育となるよう、プログラムの内容を工夫し、よりよい療育を目指しています。
2	こどもは通所を楽しみにしていますか。	今後もお子さまが安心して過ごせるよう、事業所内の環境づくりや活動内容等について随時、見直しを行ってまいります。	お子さまに安心して過ごしていただけるよう、お子さまのその日の気持ちに合わせて活動内容や支援方法を適宜変更しております。また、どの指導員が支援を担当してもお子さまが安心して活動できるよう、支援時の留意点等を指導員間で共有できる仕組みを充実させてまいります。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	今後もより充実した支援を提供できるよう、こまめな支援内容の見直しと、指導員のさらなるスキルアップに努めてまいります。	お子さまの将来の姿を見据えた上で、今何が必要なのかを考えながら毎回の支援を積み上げてまいります。また、保護者さまや関係機関等と連携しながらお子さまの成長を支えてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	コロナ禍が明けたことで、ファミカフェや講演会の実施を再開いたしました。保護者さま同士の交流のみならず、きょうだい同士の交流の機会を含め、今後定期的に開催できるよう枠組みの構築を図ってまいります。	多くのみなさまに参加していただけるように周知期間や開催日時・内容等の見直しを図って参ります。
2	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	保護者様からのニーズがなかったため、交流の機会はありませんでした。	保護者さまのご要望に応じて検討して参ります。また、事業所内で小集団療育などを開催し、別地域のお子さまとの交流療育を引き続き実施して参ります。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	避難訓練の記録や災害時の非常対応マニュアルの配置場所についての検討が不十分でございました。	今後は、避難訓練の記録やマニュアルをわかりやすい場所に配置し、さらにご要望に応じて、保護者様にご提示をさせて頂くこと、またご利用者様も含めた避難訓練の実施も検討して参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラゼミ」仙台富沢校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

20名

回収数

10名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえ
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	4	0	0	事業所自体があまり広くない中、職員のみなさんが工夫をしてスペースを確保してくださっています。物を移動する時も子どもに怪我がないよう細心の注意を払ってくださっているので、十分だと思います。椅子に座っての活動は十分だが、運動の活動だと少し手狭な感じがある	法令で定められている指導訓練ておりますが、引き続き、現状で確保に努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0		法令で必要とされる配置数を満たすまでの発達段階や支援ニーズに十分にできるように配置を行
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	0		障害特性に応じて、可能な限り参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	0		お子さまが快適で安全に過ごせがけていますので、何かご不安な
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0	一人ひとりの特性を掴んで支援してくれていると思う。	ありがとうございます。職員は定
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		支援内容は定期的に見直しを
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		計画作成にあたっては、お子様の
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0		お子さまの個別のニーズに応じた
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		支援の進捗や成果について職員
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	0	こどもが飽きないように毎回工夫してくだっています。固定を感じる。	興味や成長に合わせて、プログラ
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	2	1	幼稚園には通園してるが、交流までは行かない	保護者様のご要望に応じて検討
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1	0	0		契約時に丁寧に説明すると
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		個別支援計画を提示させて頂
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	0	0		支援の活動中やフィードバック時
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		フィードバック等を通して、職員

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	0		定期的に面談を実施し、お子様について共有させて頂いており、皆様と一緒にお子様の成長を支え提供できるよう尽力してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	1	0	0		引き続きお子様とご家族様の思いながら活動できるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	0	3		コロナ禍が明けたことにより、昨年カフェを再開しております。今後ともよう枠組みをしっかりと構築して参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	0		契約の際に丁寧に対応の体制が整います。また、事業所内に重要事項し、ご質問やご相談に対して迅速できるように周知を図って参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		お子様・保護者様の状態に応じた対応などに配慮しております。今後進んで尽力してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	2		HPやブログを活用して活動の様子等を発信しております。皆さん周知に努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0		個人情報の記載された書類は厳重に管理しております。今後も個人情報に十分注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	0	3		事業所内に各マニュアルファイルマニュアルや訓練の報告書など、周知に努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	0	2		事業所内に避難訓練報告ファイルについてまとめたものを提示し、閲覧いただけるよう、周知に努めて用者様にも広くご参加いただけています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	0	2		施設内での安全対策や緊急時全員が共有し、定期的に確認し、画等の周知に努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	3		事故等の発生時は、速やかに事故の状況や対応について詳しく説明し、また、事故防止委員会や事業所関係者など再発防止に努めて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		ありがとうございます。今後も、おけるよう、日々の活動内容や支えをして参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0	行きたくないと言ったことは一度もない。毎回楽しみにしている。	ありがとうございます。今後もお子様と一緒に寄り添いながら、楽しく活動内容を検討して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0		今後も保護者様にご協力をいただくことの充実と、指導員のスキルアップに努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
子どもサポート教室「クラゼミ」仙台富沢校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令に遵守したスペースを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を満たしております。お子さまの発達段階や支援ニーズに応じて、個別の支援が十分に行えるように配慮しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		設備等に危険箇所がないか毎日確認しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で心地よく、活動に適した環境を提供しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、静かな時間を持ちたいお子さまには、個別のスペースを提供し、集中したりリラックスできるよう配慮しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日次・週次で職員参加のミーティングやケア会議を実施し、教室内全体での情報共有を行いながら、目標設定と振り返りを実施しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ事業所評価アンケートを実施し、業務改善に繋げております。いただいたご意見は、職員全体で共有し、業務改善や支援の質向上に活かしております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に職員ミーティングを開催し、現場での課題や改善点を共有しております。そこで出された意見や提案をもとに、業務改善やより良い環境づくりに反映させております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者様・他事業所(同法人)の2者評価を取っております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありません。	今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全職員が受講できる法人主催の定例研修を毎月開催しております。また、新入社員には初任者研修を実施する等、職員の資質の向上を図っております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成しており、今年度中にHPにて公表する予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約時・計画期間ごとに、保護者様よりアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しております。一人ひとりに最適な支援計画を策定し、個別のニーズに基づいた支援が行われるようにしております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画作成のための会議を開催し、職員間で情報共有・共通理解を深めながら、個別のニーズや目標に基づいた支援内容の検討をしております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成後、職員全員が内容を確認し、共通理解を持って支援にあたっております。目標達成状況について必要に応じて計画を見直ししながら、最適な支援提供に努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時・計画更新ごとに統一したアセスメントシートを使用し、個別支援計画を作成しております。また、個別支援計画に沿った評価内容や日々の行動・様子を記録し、全職員が確認できるようにしております。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さまの個別の課題やニーズに応じた支援内容を設定し、具体的な支援方法を明確にしております。支援目標の達成状況を定期的に評価し、必要に応じて計画を見直ししながら、より効果的な支援を提供できるよう努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ケース会議等において、お子様の課題やニーズ等を職員間で共有・議論しながら、チームでプログラムの立案を図っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の特性や成長等にに合わせて、プログラム内容を柔軟に都度見直しをしております。また、お子様が楽しみながら活動できるように、興味に合わせたプログラム内容の工夫に努めております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況と保護者様のニーズ等に応じて個別支援計画を策定しております。また、保護者様のニーズに応じて小集団療育やペア療育を実施しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を実施し、職員間での情報共有を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を実施し、職員間での情報共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎支援毎に指導記録を取り、お子様の成長や状況に合わせて支援の見直しを行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6ヶ月に1回以上、保護者様と面談を行った上でモニタリングを実施し、見直しの必要性を判定しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しております。必要に応じて担当指導員も出席しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子さま一人ひとりのニーズ等に応じて、医療的なサポートや福祉サービスを必要なタイミングで提供できるよう、関係機関と情報共有を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や移行に向けた支援に関係する機関との会議や訪問等にて情報共有を行い、相互理解に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様のご要望に応じて、情報提供書の作成を行っております。支援内容や活動状況に関する情報を適切に提供しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		研修等に参加させていただいております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域の他のこどもたちとの積極的な活動機会は設けておりません。	事業所内で小集団療育を開催し、別地域のお子様との交流療育を実施しております。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後にフィードバックの時間を設け、細やかな情報共有ができるよう努めています。また、ご要望に応じてお電話等での情報交換を行っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		昨年度より、保護者向けの講演会や研修を再開しております。また、他法人が開催する保護者様向けの研修やお子様に参加できるイベント等の情報提供にも努めています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要事項説明書を閲覧できるよう設置しております。支援プログラムに関しては、フィードバック等にて説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		成長やニーズに応じた支援が行えるよう、お子さまや保護者様の意向を反映した計画を作成しています。意思を尊重し、個別の状況に応じた柔軟な支援が提供できるよう努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容や具体的な目標について詳しくご説明した上で、保護者様からの同意を得ております。計画に関して疑問点やご要望があれば、その場で伺いし、必要に応じて修正や調整を行っております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバック等でご家族様からの相談に都度応じております。また、ご要望に応じて子育ての悩み等に対する相談・面談を実施し、必要な助言と支援を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		昨年度より、講演会やママカフェを再開させて頂いております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		フィードバック等で保護者様から頂いたご質問やご相談に対して管理者に報告する体制を整備し、迅速かつ適切な対応を行っております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にブログを活用して活動の様子や季節の制作物の写真等を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しております。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様・保護者様一人一人に応じた意思疎通・情報伝達などに配慮しております。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民を招いての行事の定期開催は行っておりません。	地域団体や自治会との連携を深めながら、事業所の存在や活動を地域住民に認知していただけるよう努めて参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、研修・訓練を実施しております。マニュアルは保護者様にもご閲覧頂けるよう事業所内に設置しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアルを策定し、避難訓練を定期的に行っております。訓練報告書は保護者の方にもご閲覧頂けるよう事業所内に設置しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		お子さまの安全を最優先に考え、医療面での配慮が必要な場合には、保護者様と連携して情報を共有し、緊急時の対応がスムーズに行えるよう準備をしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無を確認し、支援時に該当物質との接触が起こらないよう配慮しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		お子さまが安全に過ごせる環境を提供するため安全計画を策定し、定期的な研修や訓練を実施しております。職員は、緊急時対応や事故防止に関する知識を深め、安全管理に必要な措置を講じております。	

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、保護者の方にもご閲覧頂けるよう事業所内に設置しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際は、職員間で再発防止に向けた対策会議を開催し、記録に残しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を定期的 to 実施し、職員全員が十分な知識と理解を持てるよう努めております。また、虐待防止に関する方針や手順を明確にし、職員が常に適切に対応できる体制を整えております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束がやむを得ない場合には、その理由と具体的な対応方法を事前に保護者様に説明しております。身体拘束の取り扱いや実施の基準について説明を行い、必要に応じて計画に記載しております。	